川里地域小中一貫教育校新設に係る
ワークショップ

日時：令和5年 6 月25 日(日)
9時00分～12時 00分
場所：ふるさと館　会議室

◇◇目次◇◇

1. ワークショップの目的 ･･･1

2. タイムスケジュール ･･･1

3. ワークショップの方式 ･･･2

4. グループ構成 ･･･2

5. ワークショップの手引き ･･･3

6. グループによる意見交換テーマ ･･･5

7.その他 ････添付資料1） 候補地説明

添付資料2） 参考実例紹介（3件）

添付資料3） 校舎見学マップ

1. ワークショップの目的

小中一貫校整備基本構想の策定にあたり 、市民の方々の意見を広く聞く機会としてワークショップを開催し、テーマに沿った内容で、基本構想に生かせる具体的なアイデアを発見することを目的とします。

2. タイムスケジュール

第 1 回ワークショップ開催：6 月 25 日

8:45 ～	受付
9:00 ～ 9:05	開会
9:05 ～ 9:10	担当者紹介
9:10 ～ 9:15	事業スケジュール
9:15 ～ 9:20	敷地説明
9:20 ～ 9:35	プロポーザル案紹介/事例紹介
9:35 ～ 10:20	川里中学校の現状/校舎見学
10:20 ～ 10:30	休憩
10:30 ～ 10:35	ワークショップの進め方
10:35 ～ 10:40	自己紹介・役割決め
10:40 ～ 11:30	グループによる意見交換、発表まとめ
11:30 ～ 11:50	発表 各グループ 5 分程度
11:50 ～ 12:00	講評・閉会/事務連絡
12:00	解散

3. ワークショップの方式

ワークショップは、ブレインストーミング方式で行います。
ブレインストーミングとは参加者が自由にアイデアを出すことが特徴で、自由な雰囲気で話し合うことで、アイデアが新たなアイデアを生み出すという効果が期待できます。

ブレインストーミング４つの原則

①批判しない。

アイデアへの批判や意見はブレインストーミング中に関しては禁止とします。

②どんなアイデアでも歓迎する。

現実的にはありえないアイデアも自由に発言しましょう。

③アイデアは多いほどよい。

質より量です。1 人10個以上を目標に。

④他人のアイデアを修正、改善、発展、結合する。

アイデアの改善案や組み合わせも歓迎します。

4. グループ構成

グループのリーダー、書記、発表者といった役割を決めます。

リーダー（1人）	グループ全員の意見を集約しながらワークショップ（グループ討議）を進行（タイムキーパー）してください。
メンバー	ご自身の考えを積極的に発言し、リーダーを支えながらスムーズな進行にご協力ください。 意見を取りまとめシートの記入をします。
発表者（1～2人）	シートを用いてグループ討議の内容を簡潔に発表してください。

※受託事業者の㈱桂設計の社員がファシリテーターとして各グループに参加します。

5. ワークショップの手引き

（1）ワークショップとは、参加者個々が考え、お互い協力し合いながら意見を出し合い、与えられたテーマを元に展開するスタイルの会議や共同作業のことです。

（2）ワークショップの注意点

・気軽に楽しくやりましょう。
・どんどん意見を出していきましょう。
・他の人が発言しているときは、最後まで耳を傾けて聴きましょう。
・一回当たりの発言は手短にしましょう。
・他の人の意見を否定しないようにしましょう。

（3）ワークショップの進め方

①グループ内で自己紹介を行い、各グループ内に１人、リーダーを決めてください。
リーダーは、話し合いをどんどん進めてもらう役割です。なるべく全員から意見を出してもらいましょう。
各グループにファシリテーターがいますので、疑問点や不明な点があれば、気軽にお声かけください。

②当日の作業の確認を行い、グループ内で情報の共有を行います。
・テーマの確認をしましょう。テーマについてできるだけ幅広い意見や考え方を集め、グループで意見を集約しましょう。

③ふせんに自分の意見（またはアイデア、感想など）を記入します。
（以降に示す［ふせんを使った情報集約法（使い方）］を参照）
・テーマについて、自由に意見を出し合いましょう。
・ふせんに記入した自分の意見を発表シート（模造紙）に貼りながら、グループのメンバーに説明します。

④発表シート（模造紙）に全員の意見が貼り出されたら、まとめの作業を行います。
・全員の意見が貼り出されたら、他に意見がないか確認しましょう。
・内容の近いものをグルーピングし、みんなでタイトル（キーワード）をつけます。
・課題（見直す点や検討する点）を中心に、今後どのようにしていくべきか、発表シート（模造紙）の空きスペースにまとめます。

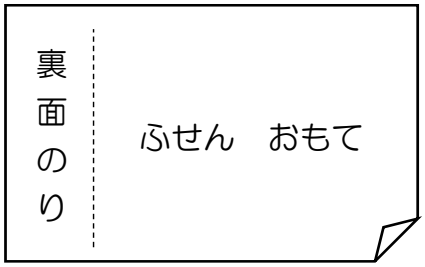
⑤上記の方法で、最後にグループごとに発表を行います。
・発表者を決めてください。発表は何人で行っても OK です。
・ホワイトボードに模造紙を貼ったら、それを活用しながら説明スタート。
・発表時間は、各グループにつき5分、質疑応答１分程度でお願いします。

［ふせんを使った情報集約法（使い方）］

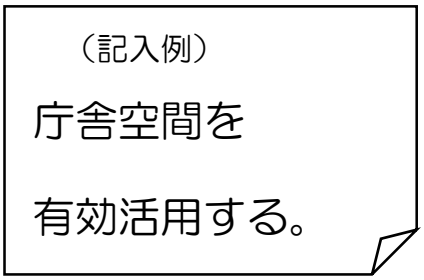
今後、ワークショップを行っていく際に、全員の意見を効率的に反映していくため、各自の意見を集約していくことになります。

そこで、様々な意見やアイデアを効果的にまとめるふせんを使用した情報集約方法について、紹介します。

（1）ふせんの向きは、裏面の「のり」が横になるように使用します。

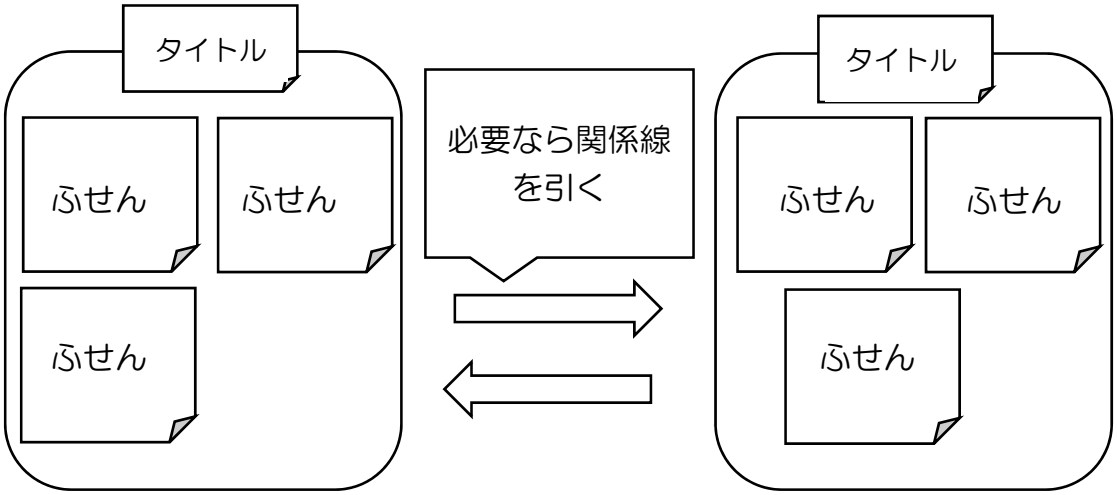


（2）意見は１枚につき、ひとつ。大きな字で簡潔に記入します。



（3）記入した人は、模造紙に貼りながら、グループのメンバーに説明します。全員の発表が終わったら、内容の近い意見・アイデアをグルーピングし、タイトルをつけます。

グループを輪で囲みます。 グループに関係線を引いても OK です。



6. グループによる意見交換のテーマ

・テーマ１ ：『既存校舎の課題』

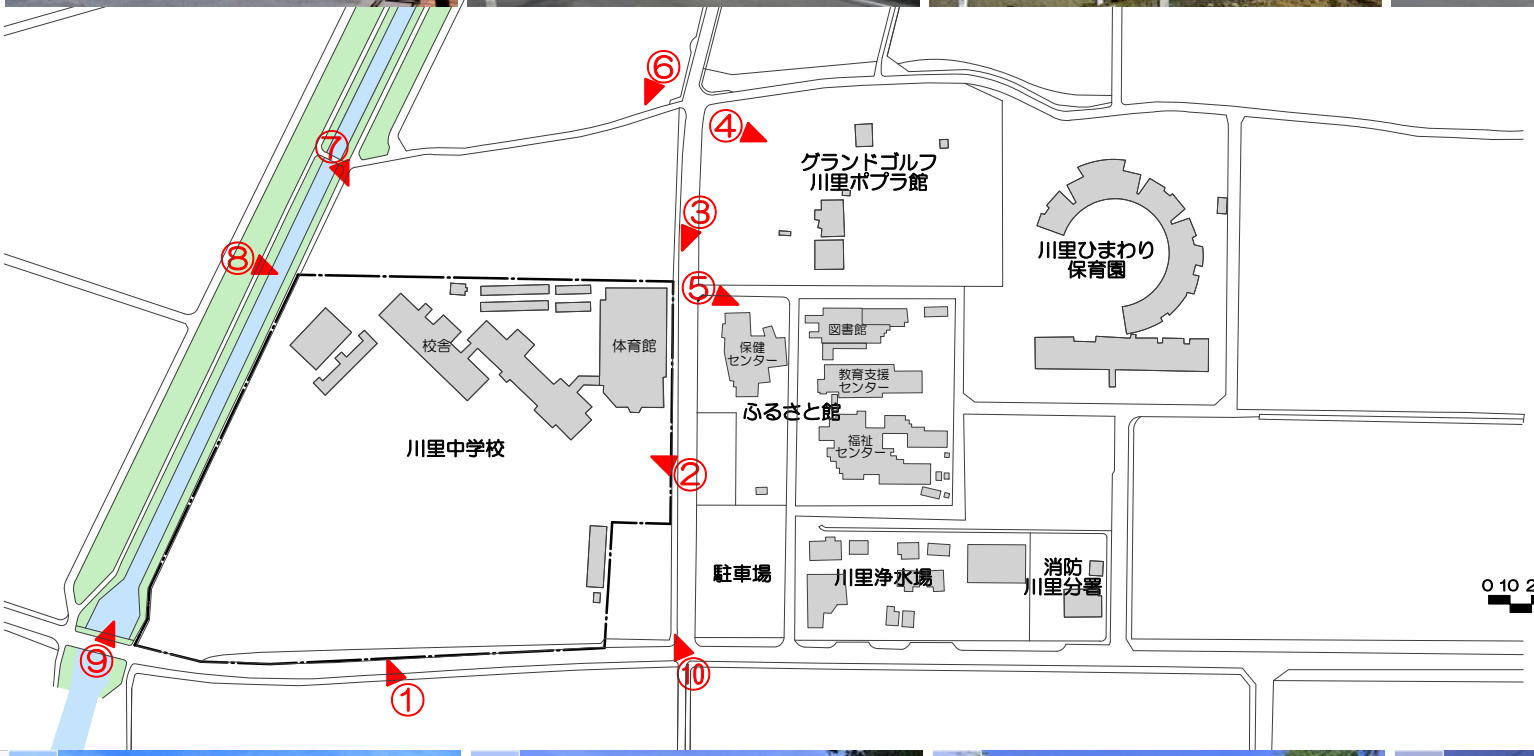
・テーマ２ ：『小中一貫教育に期待すること』

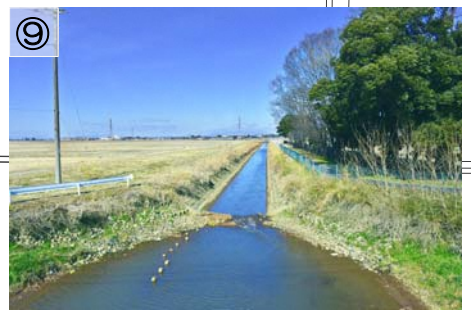
［ワークショップスケジュール］

回数	開催日時	内　容
第1回	6 月25 日(日) 9時00分～12時00分 ふるさと会館　会議室	◆テーマ1 「新設校計画に向けて概要説明、意見・要望・課題の整理」 1. プロポーザル案紹介・参考事例紹介 2. 既存校舎見学 3. 意見交換
第2回	8月20日(日) 9時00分～12時00分 川里支所　会議室	◆テーマ2 「建物規模・必要機能・複合施設の検討」 1. 複合施設・機能に対する意見交換 2. 敷地利用に対する意見交換 3. 平面プランに対する意見交換
第3回	11月26日(日) 9時00分～11時00分 川里支所　会議室	◆テーマ3 「新設校計画のまとめ、今後の課題整理」 1. 基本計画プランに対する意見交換 2. 今後の課題・要望に対する意見交換

7.その他
候補地説明

添付資料１





参考実例紹介
①瀬戸市立にじの丘学園

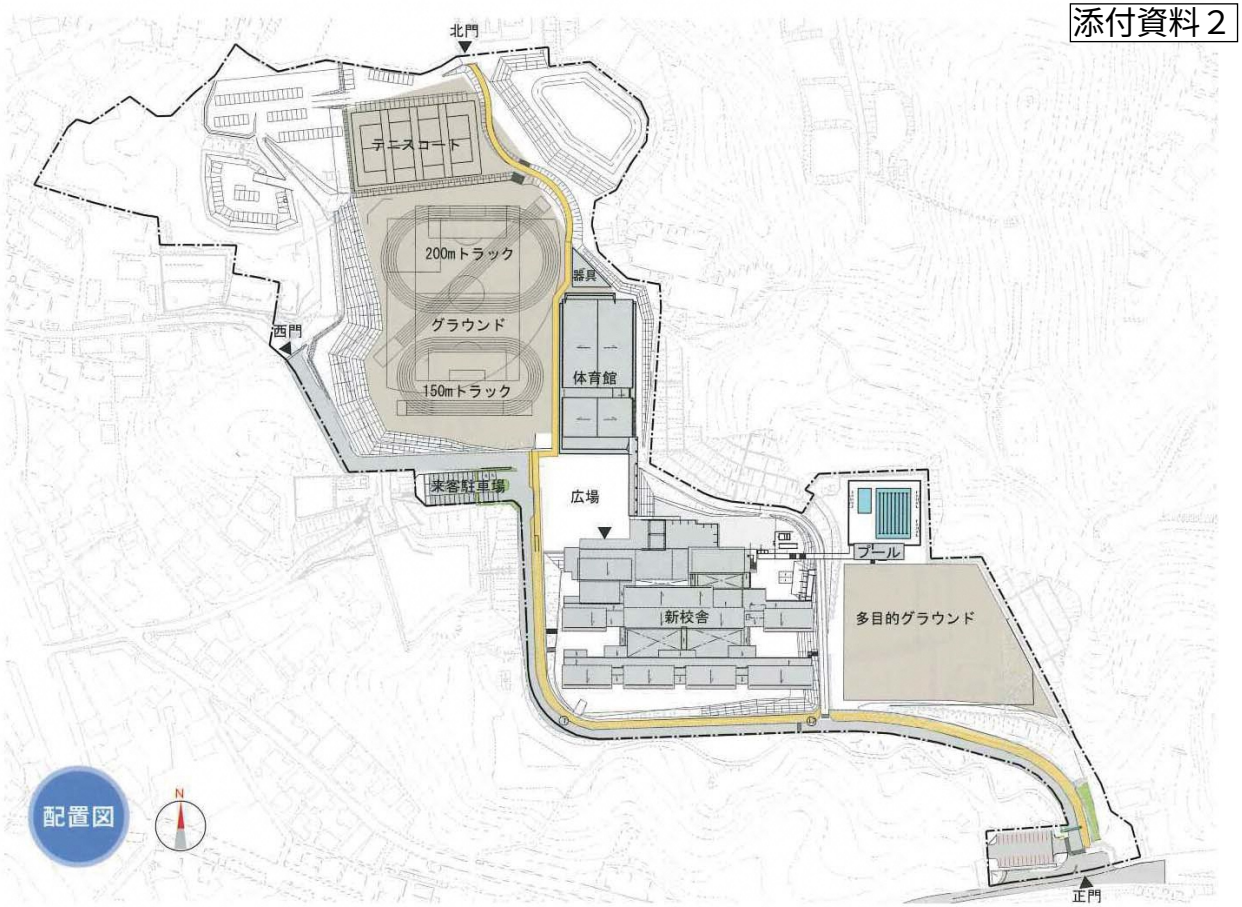
添付資料２

■概要

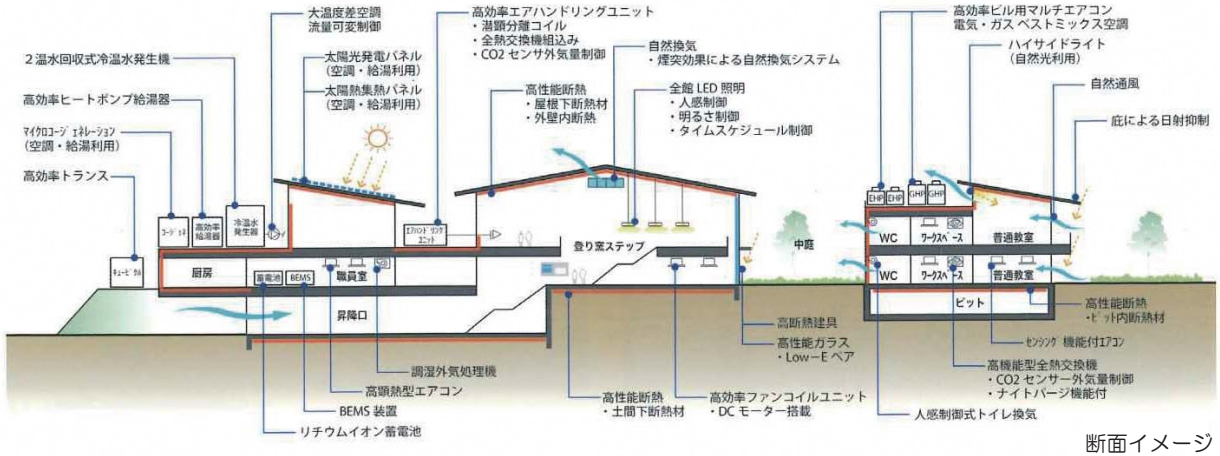
所在地：愛知県瀬戸市
学校種類：義務教育学校
敷地面積：82,344.69 ㎡
建築面積：10,919.53 ㎡
延床面積：15,629.12 ㎡
構造規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
階数：地下１階地上２階
竣工年月日：2018 年３月
発注者：瀬戸市

昇降口

俯瞰図



配置図



断面イメージ

■各階平面図

地下１階平面図

１階平面図

２階平面図

教室

廊下

体育館

②岩国市立東小学校・東中学校

■概要

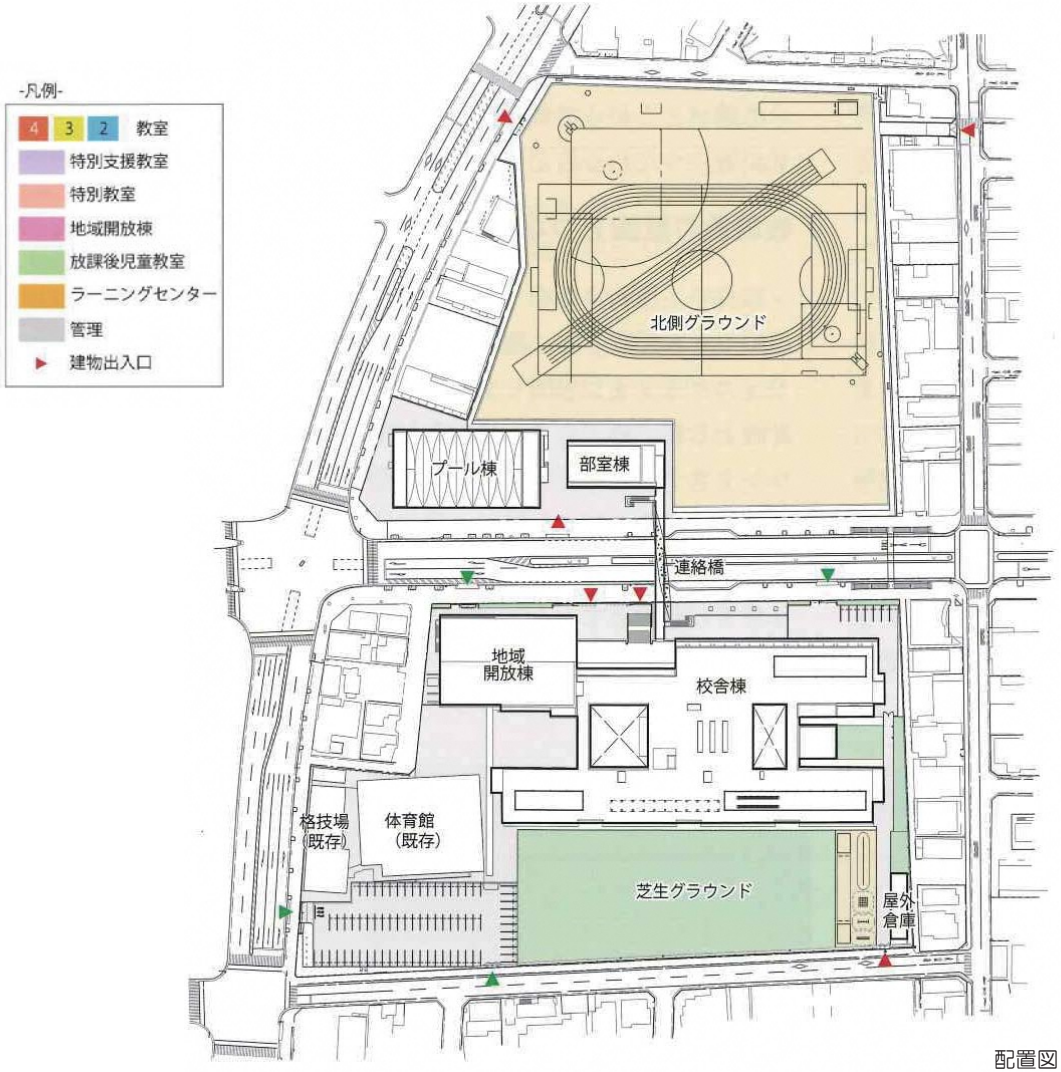
所在地：山口県岩国市
学校種類：義務教育学校
敷地面積：35,257.66 ㎡
建築面積：9,052.04 ㎡
延床面積：16,983.99 ㎡
構造規模：PRC 造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数：３階
竣工年月日：2021 年８月
発注者：岩国市

外観１

外観２

図書室

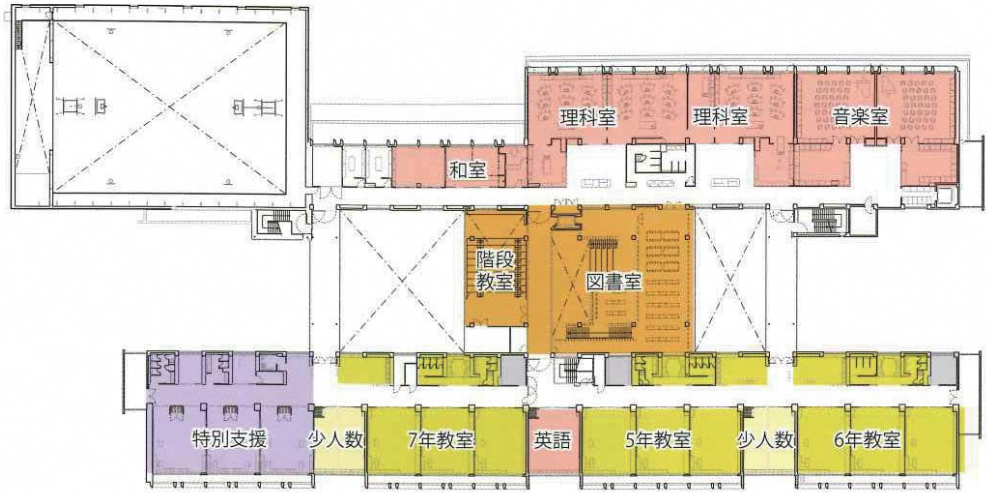
特別教室



配置図

■各階平面図

1 階平面図



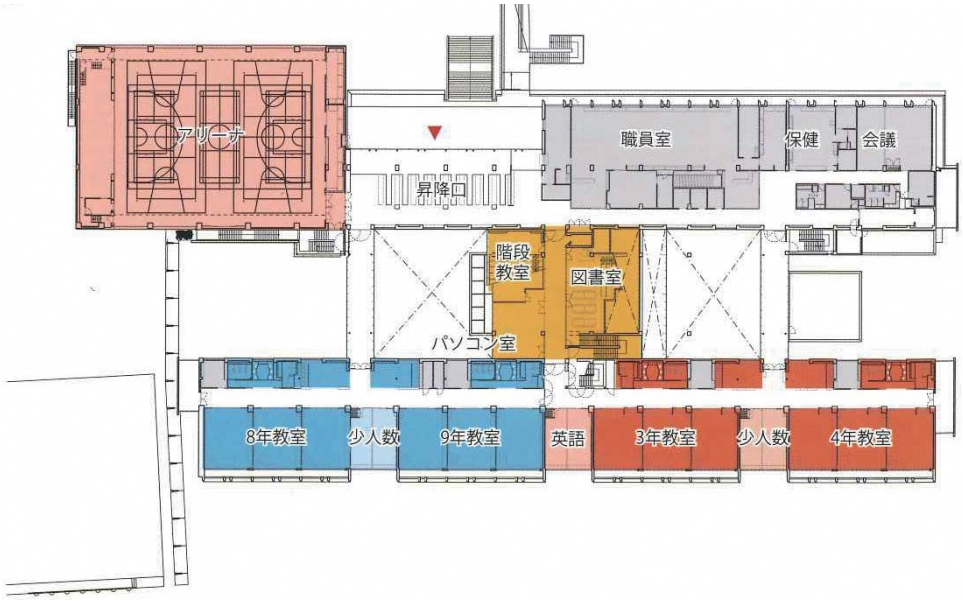
3 階平面図

教室

間仕切り収納棚

階段教室

掲示スペース



2 階平面図

③松江市立義務教育学校玉湯学園

■概要

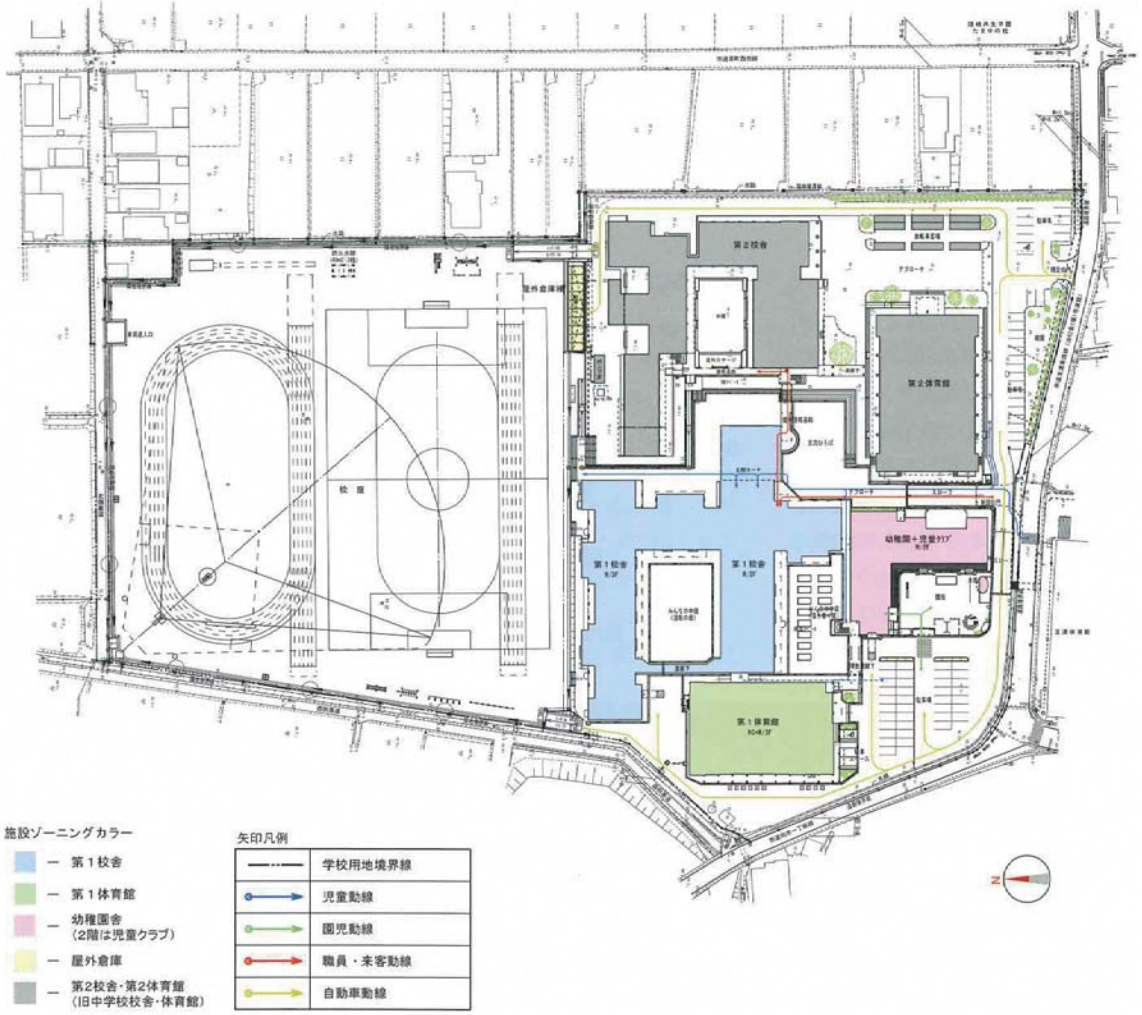
所在地：島根県松江市
学校種類：義務教育学校
敷地面積：41,722.69 ㎡
建築面積：9,541.05 ㎡
延床面積：15,083.08 ㎡
構造規模：木造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数：３階
竣工年月日：2021 年３月
発注者：松江市

教室

体育館

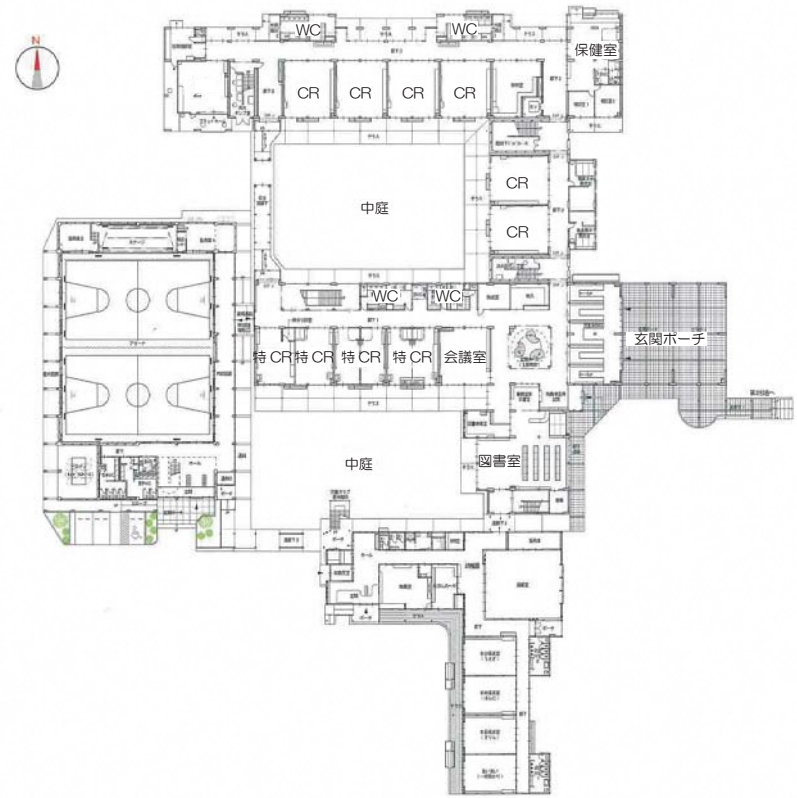
俯瞰図

１階ホール

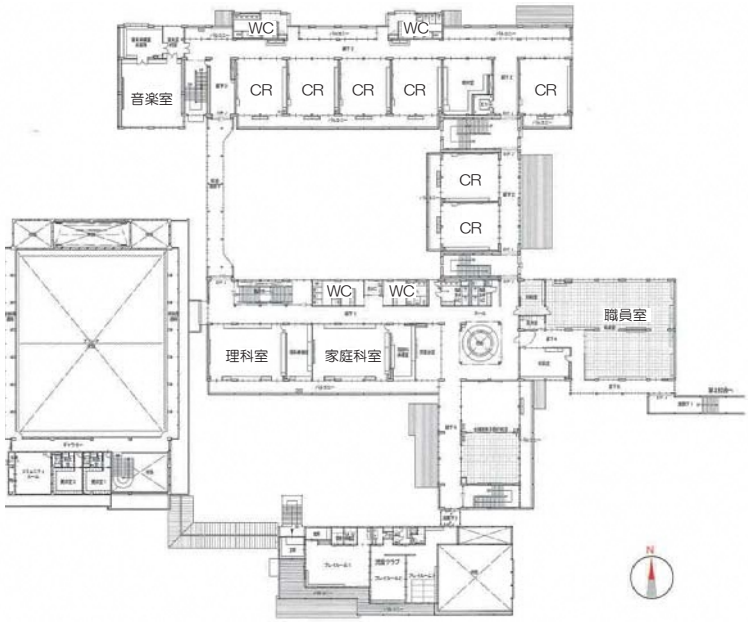


配置図

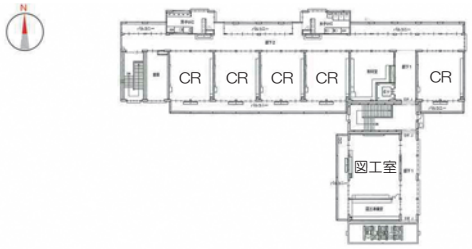
■各階平面図



1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図

理科室

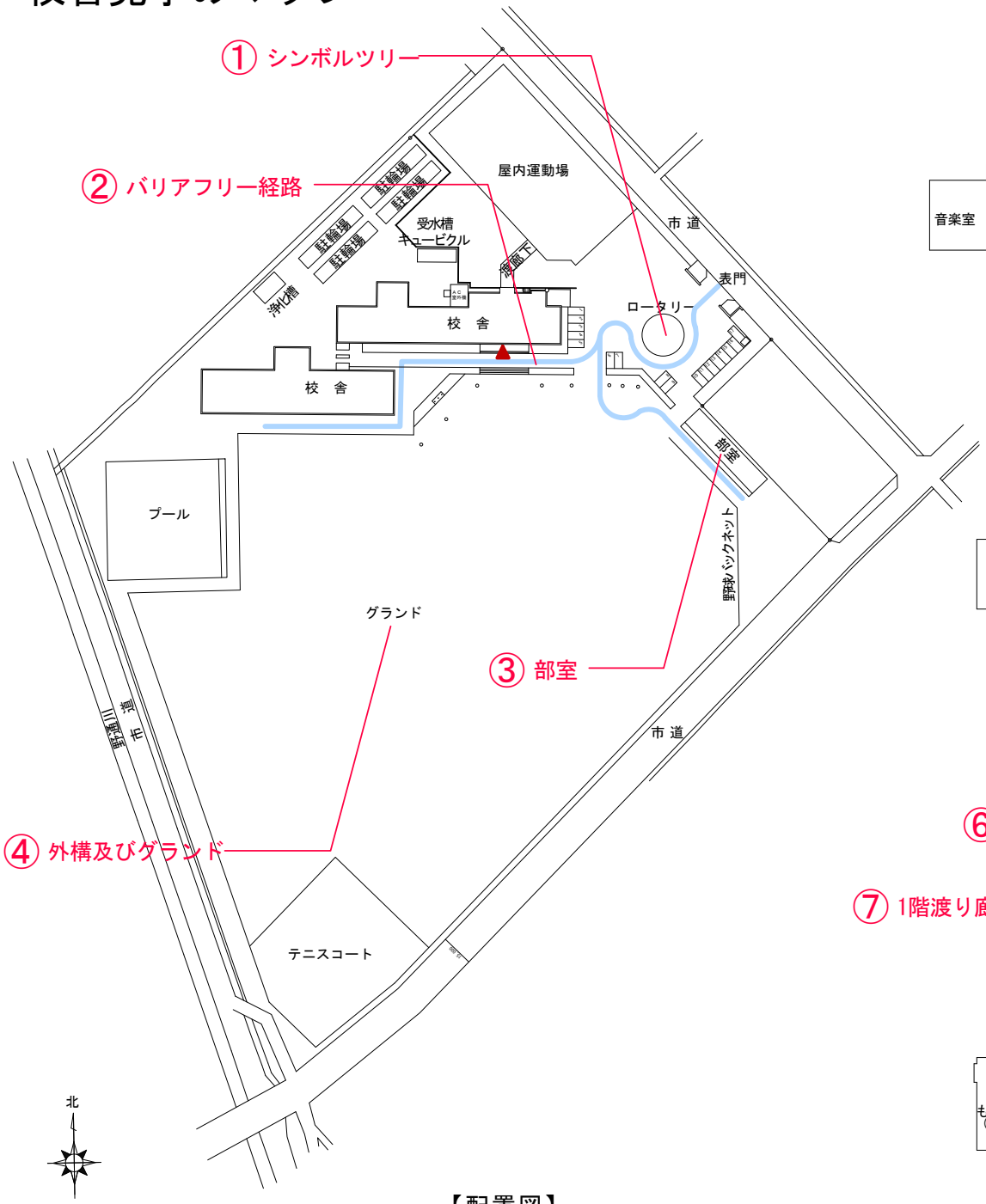
ピロティ

ホール

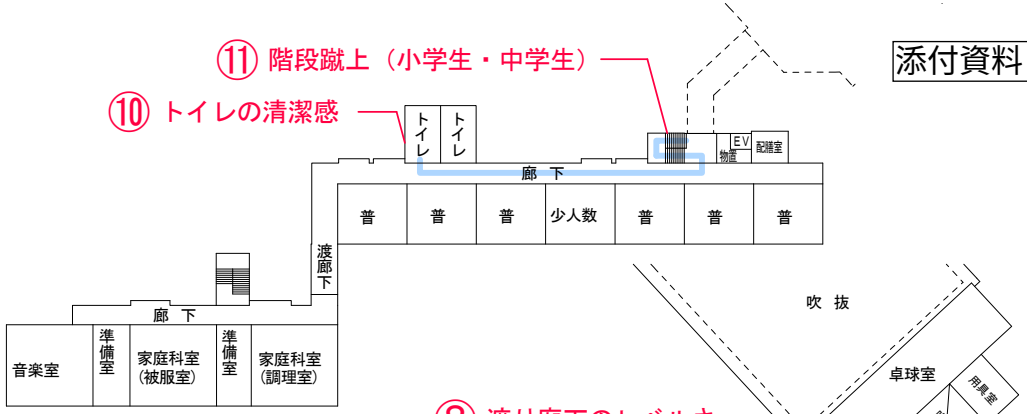
廊下

校舎見学のマップ

添付資料３

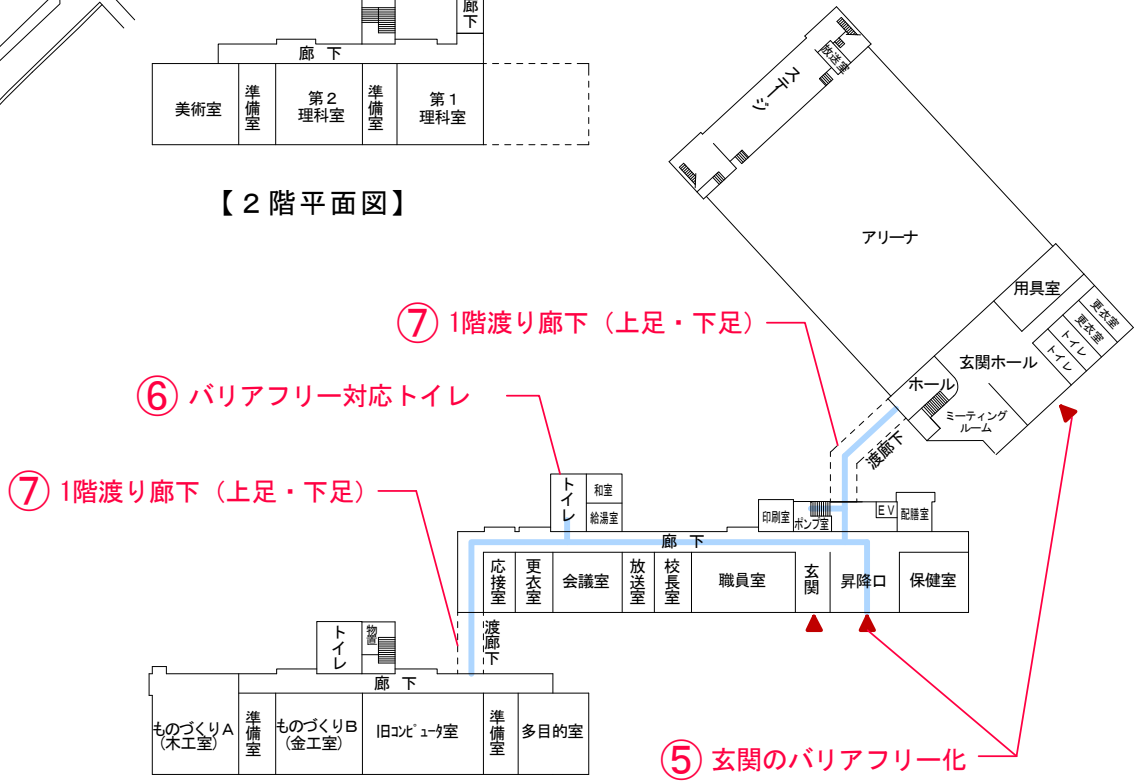


【配置図】



【３階平面図】

【２階平面図】



【１階平面図】

見学経路